中止・延期に公募割れも続出の逆風展開

JACK流『勝利の方程式』第148回

今年のＩＰＯ投資は異変？

選別のカギは「保有キャッシュ」と「時価総額基準」

すべて市況のせいにしてしまえば、それまでですが、今年のＩＰＯ（新規上場）の結果は散々なものになっております。

2月3日上場のＲｅｃｏｖｅｒｙ Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ（９２１４・東マ）から3月31日上場のノバック（６０７９・２部）の22社で上場中止や延期が7社、初値の公募割れが4社、初値が上場日に付かなかった社は1社もありました。

個人的には上場が延期となったシノケンリート投資法人や住信ＳＢＩネット銀行は、セカンダリー投資として勝負をする戦略でありましたから、残念なところであります。

ＩＰＯ投資については、そもそも、表の通り、ブックビルディングの指標の1つとして見ている全国の委託販売団の申込社数の推移を見ても応募社数が少なく、厳しい結果が分かります。

よく言われる初値が公募価格からかなり高く付く、Ｓ級やＡ級銘柄だと、応募者数は最低でも社を超えてきますが、ここまで見ておると、80社を超えたのはＢｅｅｘのみで、結果として公募価格1,600円に対し、上昇率134.4％初値3,750円が付きましたが、少し申込社数が劣るＢ銘柄として、新年1発目の77社の応募のあったＲｅｃｏｖｅｒｙ Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌは、公募3,060円に対し、初値2,640円と年初の案件がまさかの公募割れとなりました。続いたセブテックも73社の申し込みがあったにも関わらず、公募1,130円に対し、初値1,030円となり、連敗スタートとなりました。

その後も78社の申し込みのあったライトワークスや76社の申し込みのあったイメージ・マジック、ライトワークスの初値の流れに乗って73社の申し込みのあったエッジテクノロジーはいい初値となりましたが、申込社数58社のセレコーポレーションやわずか31社のビーウィズのように公募価格割れも散見されます。

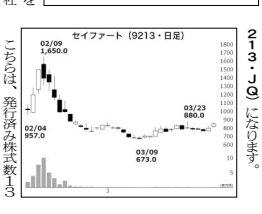
さらには、業績や規模などによりますが、ノバックのように全国の証券会社からの申込社数が16社という数字も私自身、ここ最近では記憶にないところであり、ＩＰＯ投資の厳しい状況が伺えます。

しかし、そのような中、今後も期待できる開催となった社もいくつかあります。

1つは前述した公募割れとなったセレコーポレーション（５０７８・２部）になります。

全国の委託販売団の申込社数

銘　柄	申込社数
Recovery International	77社
セイファート	73社
ライトワークス	78社
エッジテクノロジー	73社
ＣａＳｙ	73社
ＢｅｅＸ	84社
マーキュリーリアルテックイノベーター	73社
ビーウィズ	31社
イメージ・マジック	76社
セレコーポレーション	58社
守谷輸送機工業	27社
ＴＯＲＩＣＯ	70社
メンタルヘルステクノロジーズ	69社
ギックス	48社
ノバック	16社

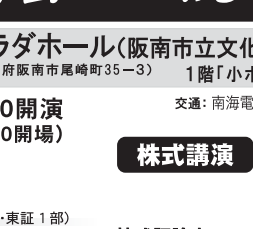


こちらは、大量のキャッシュを保有しており、今後も中国子会社の売却益としての特別利益が、ざっくり160億円計上されます。

そもそも、今期末の株純資産は5500円超えなり、公開価格の1900円で割り返すとＰＢＲは1倍割れの0・34と、かなりの割安であったことは言うまでもありません。

そこに先ほどの160億円がプラスとなり、今後の配当利回りがいくらになるかがわかりませんが、このあたりに着目すればアクティビストもほっとかないところでしょう。今後の配当金の方向性が注目され、現状として、株価がなかなか公募価格を上回らない水準であれば、中長期投資として絶好の買い場ではないかと思っております。

もう1つは、セイファート（９２１３・Ｊ９）になります。



こちらは、発行済み株式数132万株で上場時に12万株の公募増資で約億7００万円を調達しております。株価が757円を割れてくると時価総額が10億円を下回り、スタンダード銘柄であることから、上場基準に抵触するところであります。

12月決算というところもあり、時間はまだまだありますが、こちらも株価が757円以下の水準であれば払込んでおいて、12月までの株価対策を待ちぬける投資がいいのではないかと考えているところです。

このあたりは、セイファートに限らず、東証市場改革のプライム、スタンダード、グロースの時価総額などの基準を資料断に使っているのも、各企業の思惑が働くことから、妙味があるのではないかと思っております。

（次回は5月2日付掲載予定）

ＪＡＣＫ(ジャック)氏のプロフィール
個人投資家。バーテンダー、予備校講師、サラリーマンと多彩な職歴を歩む傍ら、ＩＰＯ（新規公開株）を中心に2億円近くまでの資産を稼ぐ。
（ＪＡＣＫメインＨＰ）http://ipo-jack.com/
（株ブログ）http://www.jack2015.com/
（ツイッター）@jackjack2010
著書
『元手50万円から始める！月５万円をコツコツ稼ぐらくらく株式投資術』　ダイヤモンド社
『百人百色の投資法ＶＯＬ１～５』　パンローリング社
『１万円を１年で100万円に！はじめての人の「株式」投資生活』　ぱる出版
『これはすごい！株カニング投資術』　ダイヤモンド社

関西地盤４社がＩＲ戦略について語る

池田泉州銀行×日本証券新聞「ＩＲ座談会」開催

東証の市場区分の変更が目前に迫る中、ますます重要性を増すＩＲ（投資家向け広報）戦略における上場企業の悩みは尽きない。そんな悩みを共有して後の方向性を模索するべく、関西地盤の上場企業4社のＩＲ担当者が座談会に参加した。

座談会の主催は池田泉州銀行本店営業本部２部と、日本証券新聞社。“今までの銀行”といった枠組みにとらわれないサービス提供についての試み、司会はテトラワークス代表取締役の大庭崇氏、企業価値向上を目的としたコンサルティングを手掛け、これまで50社以上のＩＰＯ（新規上場）に携わった大庭氏が３つのテーマを設けて悩みの「核」を引き出す。

テーマ①個人投資家向け戦略／方向性について

「ＩＲ座談会」テーマ
①個人投資家向け戦略
②機関投資家向け戦略
③資本政策&インセンティブプラン

▼千趣会（８１６５）のケース

（サービスや商品を実際に）使っていただいた「気付き」を個人投資家から「意見」として いただくことがあります。このようにして当社のことを理解いただき、結果、株を長く保有していただけるといったところで、当社は優待制度をしっかり作り込み、残し らは配当に関するお考えを当然いただく。当社としては「一気にたぐらかせる」ではなく「しっかりバランスをとる）が正しいカタチだと考えている。

▼ファーマフーズ（２９２９）のケース

当社は個人株主の議決権比率が70数％と高水準。最近は「距離感」を意識している。ＹｏｕＴｕｂｅ（ユーチューブ）のもご参加いただいた（※1）ように「本音に近い」人投資家からの質問に「そんなこと聞かないでよ」などと返すような雰囲気になれたら思っている。

▼タカミヤ（２４４５）のケース

当社は「建設用仮設」業界ではトップクラスだが、業界自体が一般の方にはまったく知られていない。私自身も入社当時は足場というものがレンタルあるいは販売されていることを知らず、建設会社さんが用意しているのだろうという程度の認識だった。

そんな足場のイメージを変えるためホームページのリニューアルから着手。投資家に限らず、お客さまから学生まで、幅広く、まずは広報活動を強化することで認知拡大に取り組んできた。

▼大庭氏コメント

「自発的に開拓」は私が知るケースでも多くない。だいたいは受身、面談依頼が来たら対応する、が一般的だ。そのような中で積極的に“まっすぐ営業”という姿勢で、取り組まれていることを知り、非常に感動した。各社ＩＲ担当者にも共有していただければと思う。

（※1）21年9月に「ＩＲラジオ」の中の人」が本音を語り合う」と題して行われたオンラインイベント。撮影・配信からトークまで完全に向こうにて実施された。サブタイトルは「一般的な決算説明会では決して聞けない本音を語る実験的企画」。

（※2）20年3月にＪＡＳＤＡＱから東証２部、同年12月に東証１部へ変更。

本稿は2021年24日に行われた座談会の一部を抜粋したものです。テーマ②「完全版」の内容は動画でご確認いただけます。詳しくは「日本証券新聞Ｄｉｇｉｔａｌ版」で。

▼ＯＤＫソリューションズ（３８３９）のケース

直近ではウェブサイトを利用、若年層の投資家を意識したネット証券や投資系ウェブサイトなどに広告を出していることに加え、ＩＲ担当者にも積極的に“まっすぐ営業”という姿勢で、取り組まれていることを知り、非常に感動した。各社ＩＲ担当者にも共有していただければと思う。

本間裕　相場の醍醐味

浦島太郎の玉手箱

≪第739回≫

「２０２２年の２月」については、「歴史的なサイクル」や「マネー経済の実体経済からの乖離」、そして、「暦のファンダメンタル」などの観点から、「時代の変革を告げる大事件」が発生する年になるとの見方をしていた。

具体的には、「竜宮城から帰った浦島太郎が、玉手箱を開けたような状況」のことであり、実際には、世界中の人々が、一斉に、２０年以上にもなんだ超低金利時代」が産み出した「仮想現実の世界」から「現実世界」に引き戻されたことである。別の言葉には、「金融界のブラックホール」とも呼ぶべき世界で、「デジタルに関する技術や通貨などを使って、様々なシニシズムが産み出された状況」のことである。

より詳しく申し上げると、「歴史のサイクル」において時空の歪（ゆがみ）みとでも呼ぶべき状態が発生しだすわけだが、実際には、「デリバティブが創り出したデジタル通貨」が「人々の欲望」を全開にした結果、「地球環境の悪化」などを無視した「マネーお金」が神様となった時代」が作り出されたのである。

別の言葉には、「文明開明則史学」が教えるように、「西洋の唯物論的な社会」から「東洋の唯心論的な社会」への移行期に差し掛かっていながらも、ほとんどの人々が、この事実に気付かなかった状況のことである。

しかし、「どのようなパラダイムの変革期にあること」ということが「歴史の教訓」であり、今回も例外ではなかったわけだが、これから必要なことは、「玉手箱を開けた浦島太郎が、その後、どのような人生を送ったのか？」、すなわち、「時空の歪みが解消された世界において、今後、どのような展開が予想されるのか？」を考えることである。つまり、今回の「デリバティブに関して、「どれほどの理解と認識を持っているのか？」ということであり、実際に必要なことは、「歴史の人が、ニーチェが指摘する超人となる状況」であり、この時の方法論として、「大谷翔平選手」が示したように、「受け身」ではなく「主体的に変化すること」だと考えている。

現在のロシアは、「ハイパーインフレの初期段階」にあり、まだ、「数カ月後の西側諸国で発生する現象」を先取りしているものと思われる。今後、最も注意を払うべきは、やはり、「紙幣がコンピューターネットワークの中を流れることができない事実」だと考えている。

株式会社テンクネス
☎０３-６１５６-４８３８

新規上場スケジュール

上場日	銘　柄(コード)	市場	1株利益	主幹事	公開株式数	想定価格	仮条件価格	態度	ブックビル期間	公開価格	初　値
4/28	クリアル	(2998)	東Ｇ	36.14	ＳＢＩ	100.2	900	4/11	—	4/13～4/19	4/20	—
4/28	ベットゴー	(7140)	東Ｇ	87.33	みずほ	63	500	4/11	—	4/13～4/19	4/20	—
4/27	ストレージ王	(2997)	東Ｇ	—	大和	64.35	860	4/8	—	4/12～4/18	4/19	—
4/27	モ　イ	(5031)	東Ｇ	20.34	大和	Ｃ236.18	470	4/8	—	4/12～4/18	4/19	—
4/25	インフォメティス	(5030)	東Ｇ	▼40.39	みずほ	373.54	1150	4/6	—	4/8～4/14	4/15	—
4/21	フルハシＥＰＯ	(9221)	東Ｓ&Ｍ	126.61	大和	53	1100	4/4	—	4/6～4/12	4/13	—
4/21	ＡＳＮＯＶＡ	(9223)	ＡＮ	—	東海東京	22.2	1530	4/4	—	4/6～4/12	4/13	—
4/12	サークレイス	(5029)	東Ｇ	39.64	大和	75	710	680～720	Ａ	3/28～4/1	4/4	—
4/7	エフビー介護サービス	(9220)	東Ｓ	228.68	野村	90	1210	1210～1400	Ｃ	3/22～3/28	1400	—
4/4	セカンドサイトアナリティカ	(5028)	東Ｇ	34.14	日興	54.4	1290	1290～1390	Ａ	3/17～3/24	1390	—
3/31	ノバック	(5079)	東２	417.57	東海東京	80	3260	3000～3260	Ｃ	3/15～3/22	3000	2630
3/30	ＡｎｙＭｉｎｄ Ｇｒｏｕｐ	(5027)	3月11日新規上場承認取り消し発表									
3/30	ギックス	(9219)	東Ｍ	1.30	野村	103.55	1070	980～1070	Ｂ	3/14～3/17	1070	1100
3/28	メンタルヘルステクノロジーズ	(9218)	東Ｍ	26.70	みずほ	124.88	630	560～630	Ｂ	3/9～3/15	630	880
3/24	住信ＳＢＩネット銀行	(7163)	3月7日新規上場承認取り消し発表									
3/23	ＴＯＲＩＣＯ	(7138)	東Ｍ	228.43	日興	15	1830	1500～1700	Ｂ	3/7～3/11	1700	2510
3/18	Ｒｅｐｅｒｔｏｉｒｅ Ｇｅｎｅｓｉｓ	(9217)	3月9日新規上場承認取り消し発表									
3/17	守谷輸送機工業	(6226)	東２	81.57	日興	426	770	730～810	Ｂ	3/2～3/8	810	820
3/11	セレコーポレーション	(5078)	東２	3236.92	みずほ	49.02	2100	1800～1900	Ｃ	2/24～3/2	1900	1820
3/4	トリプルアイズ	(5026)	2月10日新規上場承認取り消し発表									
3/3	イメージ・マジック	(7793)	東Ｍ	193.86	みずほ	47.55	1840	1640～1740	Ｃ	2/10～2/17	1740	2800
3/2	ビーウィズ	(9216)	東１	128.49	みずほ	530	1920	1400～1700	Ｂ	2/14～2/18	1400	1320
2/25	マーキュリーリアルテックイノベーター	(5025)	東Ｍ	50.65	ＳＢＩ	53.5	1200	1150～1270	Ｃ	2/8～2/15	1270	1355
2/24	ＢｅｅＸ	(4270)	東Ｍ	64.75	大和	31.5	1690	1370～1600	Ｃ	2/7～2/14	1600	3750
2/22	ＣａＳｙ	(9215)	東Ｍ	36.29	ＳＢＩ	21.16	1350	1230～1350	Ｂ	2/4～2/10	1350	2001
2/22	ノーザ	(4269)	2月2日新規上場承認取り消し発表									
2/17	エッジテクノロジー	(4268)	東Ｍ	10.87	日興	271	690	300～350	Ｂ	2/1～2/7	350	694
2/9	ライトワークス	(4267)	東Ｍ	46.97	エイチ・エス	32	2100	1900～2100	Ａ	1/21～1/27	2100	3000
2/4	ビッグリーフテクノロジーコンサルティング	(4266)	1月19日新規上場承認取り消し発表									
2/4	セイファート	(9213)	ＪＱ	158.88	みずほ	74.56	1120	1060～1120	Ｂ	1/19～1/25	1120	1030
2/3	Ｒｅｃｏｖｅｒｙ International	(9214)	東Ｍ	89.65	岡三	54.75	3060	2480～3060	Ｂ	1/18～1/24	3060	2640
2021年												
12/29	Ｉｎｓｔｉｔｕｔｉｏｎ for a Ｇｌｏｂａｌ Ｓｏｃｉｅｔｙ	(4265)	東Ｍ	3.46	野村	191.53	1660	1660～1720	Ａ	12/13～12/17	1720	2002
12/27	アジアクエスト	(4261)	東Ｍ	150.16	みずほ	38	2370	2370～2430	Ａ	12/9～12/15	2430	5600
12/27	セキュア	(4264)	東Ｍ	30.48	日興	66.90	870	870～950	Ａ	12/10～12/16	950	2185
12/24	長　栄	(2993)	東２	408.27	日興	108	1890	1700～1800	Ｃ	12/9～12/15	1800	1656
12/24	ニフティライフスタイル	(4262)	東Ｍ	112.68	みずほ	210	1970	1940～2000	Ｃ	12/8～12/14	2000	1800

※①価格の単位は円　②1株利益（リートは、1口当たりの分配金）は連結または単独で会社側予想、－は会社発表なし　③他市場既上場は除く　④公開株式数は公募＋売り出し株数(オーバーアロットメント除く)、単位万株　⑤公開株式数、日付、仮条件は変更の場合あり　⑥市場の東証は所属部が売出価格決定後に決定。東１は東証１部、東２は東証２部、東マは東証マザーズ、ＪＱはＪＡＳＤＡＱ、札アは札幌アンビシャス、名セは名証セントレックス、福Ｑは福岡Ｑ－Ｂｏａｒｄ、４/４からは東Ｐは東証プライム、東Ｓは東証スタンダード、東Ｇは東証グロース、名Ｐは名証プレミア、名Ｍは名証メイン、名Ｎは名証ネクスト　⑦「態度」とは、各ＩＰＯについて、注目度や期待度などに応じて、Ａ：積極、Ｂ：やや積極、Ｃ：中立の３段階で評価。当社独自調査に基づく、ブックビルディングへの参加姿勢の参考指標。状況次第で変更の場合あり　⑧想定価格は、目論見書の記載価格　⑨網掛けは既上場の銘柄　⑩売買単位は100株

日本証券新聞セミナー　永和証券協賛　入場無料・事前予約制

株式講演会とIR説明会

大阪・阪南　会場：サラダホール（阪南市立文化センター）（大阪府阪南市尾崎町35－3）　1階「小ホール」（定員60名）

4月21日（木）13:30開演（12:30開場）

交通：南海電車「尾崎」駅下車徒歩３分

ＩＲ説明会

ユー・エス・エス（4732・東証１部）
市場シェア約40%の中古車オークション最大手。全国19カ所に会場を展開し、4万8000社と圧倒的な会員数を誇る。地域一番のオートオークション会場を作ることに注力している。

エスプール（2471・東証１部）
事業活動を通じて社会課題の解決に取り組むソーシャルビジネス企業。障がい者など就職機会の少ない人々の就労を支援するユニバーサル就労支援と雇用創出を通じて地方の活性化を後押しする取り組みを行っている。

株式講演

株式評論家
木村 佳子 さん

「株式市場の見通しと個人投資家の今後の戦略」

■座席の間隔は十分に空けておりますが、配布物の都合上、ご入場は定員数とさせていただきます。お早めにご来場ください。
■会場では「マスク着用」「検温」「手指の消毒」に必ずご協力ください。
■体調不良と見受けられる方には入場をお断りする場合や退出をお願いする場合がございますことをご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ
永和証券　阪南支店 TEL：072-473-1001
日本証券新聞社 TEL：03-6661-9414
本説明会は、日本証券新聞社が個別銘柄を推奨するものではありません。投資判断は個人の責任でお願いします。